

高齢者への補聴器購入の助成制度

2023年4月からはじまりました

65歳以上の中度難聴者を対象に（所得制限あり）
補聴器購入費の半額、最大4万円の支援



今年4月から高齢者の補聴器購入費を助成する制度がスタートします。制度の対象は65歳以上の中等度難聴者。購入費の一部を補助する制度になり、事業の予算額は400万円です。

加齢性難聴は認知症の要因の1つであり、高額な補聴器を購入するための支援制度は多くの方々や市民団体から要望が寄せられていました。

日本共産党は13年間市議会で要望 市民からの陳情を否決する自民公明

日本共産党は「高齢者にとって聞こえの問題は生活にかかわる問題」だと位置づけ、赤野秀二議員団長を先頭に、補聴器購入費助成を市議会でくりかえし要望してきました。東京都議会や国会でも同制度の創設を求め、2019年に東京都は補聴器購入支援制度をつくった自治体に対して費用の半分以上を都が負担することを決定。府中での支援制度創設につながりました。

一方、自民党公明党は市議会に出された市民からの要望に批判的な態度を繰り返しました。今回の制度は、市民からの繰り返しの陳情や世論の高まりが市議会を動かし実現した制度でもあります。

補聴器購入助成制度の概要

対象

- ・65歳以上の府中市民
- ・聴力が両耳とも40デシベル以上、または片耳が70デシベル以上と診断された方
- ・合計所得210万円未満の方

助成額

- ・補聴器購入費用の半分。最大4万円
- ※交付決定前に購入した場合や、認定補聴器専門店以外で購入した場合は助成の対象にはなりません。

市民から出された陳情	共産	自民	公明
国に補聴器購入助成を (令和元年12月議会)	○	×	×
公明党市議「対象が多く現時点では無理がある」 「補聴補正が認知症予防につながるかどうか不十分」			



日本共産党 府中市議予定候補

からさわ 地平

さらに使いやすい制度に

所得制限の廃止など支援の対象・規模の拡充、補聴器購入後の調整や使いこなすための支援など、さらに使いやすい制度をめざしてがんばります。

からさわ地平後援会
公式LINEにご登録をお願いします

活動情報をお知らせしています。
<https://lin.ee/Bsp2vrn>



補聴器購入費助成事業についてのお問い合わせは

府中市福祉保健部高齢者支援課
地域包括ケア推進係

☎ 042-335-4537

府中市役所1階 まで